

2025年度の障害者虐待防止に係る本県の取組

資料2

1 2025年度第1回市町村実務担当者会議の開催状況

【開催日時】

2025年5月28日（水） 午前10時00分から午前11時30分まで

○県からの報告事項

- ①2024年度の障害者虐待の状況について（速報値）
- ②障害者虐待に係る市町村からの県への報告のタイミング等について
- ③障害者虐待防止に係る手引き・様式等について
- ④障害者虐待に係る事前質疑等について
- ⑤2024年度第2回愛知県障害者虐待防止・差別解消推進協議会について
- ⑥障害者差別解消法に基づく対応要領の策定状況等について
- ⑦市町村における研修（差別解消・虐待防止）について
- ⑧2024年度の障害者差別に関する相談状況について
- ⑨障害者差別解消に係る直近の国通知について
- ⑩改正障害者差別解消法の概要について
- ⑪障害を理由とする差別の解消の推進に関する基本方針

2 愛知県障害者権利擁護センターとしての活動実績

（1）市町村相互間の連絡調整

障害者福祉施設従事者等による障害者虐待事案における関係自治体への通報及び連絡調整（県内40市町村、厚生労働省、県外自治体）

（2）使用者による障害者虐待に係る通報・届出等の受理

- ①本県が通報・届出を受理して、労働局に報告（2件）
- ②その他の使用者とのトラブルに係る相談等（3件）

（3）障害者虐待に係る対応相談等

- ①市町村からの報告・相談に対する情報提供、助言等（随時）
- ②嘱託弁護士からの意見を踏まえた市町村への助言（月2回）

3 愛知県における障害者虐待防止・権利擁護・成年後見制度研修（案）

○相談窓口職員向け（市町村・障害者虐待防止センター・基幹相談支援センター等）

日程	研修内容	定員
12月17日（水） （予定）	・市町村、相談窓口職員の役割（講義） ・相談窓口職員の初動対応と施設・事業所へ事実確認調査及び指導する際の考え方について（演習） 国のカリキュラム内容を踏まえて調整	80名

○障害福祉サービス事業所向け（設置者及び管理者、サービス管理責任者、従事者等）

日程	研修内容	定員
新規入職者向け 6月9日（月）	障害者虐待防止から考える障害のある方の人権の尊重 社会福祉法人大府福祉会 平林政明 氏	100名
従業者向け 12月3日（水） 1月15日（木） （予定）	障害者虐待の防止のための基礎的な知識・理解の獲得を目的とする。また、事例検討を通じて、参加者間で意見交換し、新たな気づきを得ることを目的とする。 国のカリキュラム内容を踏まえて調整	各100名
管理者向け 12月8日（月） 1月23日（金） （予定）	全施設・事業所で設置されることとなった虐待防止委員会の適正な運営方法を検討する等、障害者虐待の防止のための実践的な演習を中心に、知識・理解の獲得を目的とする。 国のカリキュラム内容を踏まえて調整	各100名

⇒「新規入職者向け」アンケート結果は次ページ

○障害のある人の性被害の防止と相談対応の強化（市町村・障害福祉サービス事業所等職員等）

日程	研修内容	定員
1月19日（月） （予定）	障害者に対する性暴力被害の実態を知り、被害防止のためにできることや、被害者に対する支援について学ぶことを目的とする。	100名

○成年後見制度利用推進研修

日程	研修内容	定員
10月7日（火） （予定）	・成年後見制度の概要と法人後見実施団体を選任する際の考慮要素について ・社会福祉連携推進法人について ・法人後見の普及に向けた検討（愛知県内の成年後見制度の取組状況等の事例発表の後、グループワークの実施）	80名
12月8日（月） 1月23日（金） （予定）	意思決定支援の理解促進を図るとともに、成年後見制度の必要性和障害福祉サービス事業所との連携の在り方等を学ぶことを目的とする。	各100名

○障害福祉サービス事業所＜新規入職者向け＞ アンケート結果（一部抜粋）

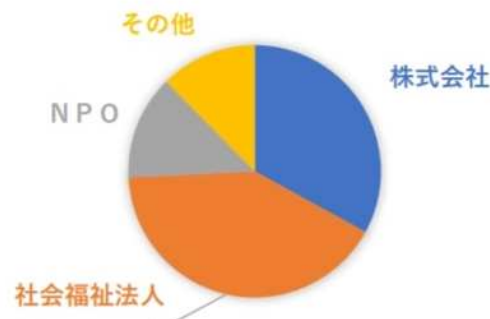
1. 受講者情報

（1）出席者数・アンケート回収率

	人数	割合
出席者	97人	88%
アンケート回収	74人	76%

（2）所属・サービス種別・役職

	人数	割合
株式会社	32人	33%
社会福祉法人	40人	41%
N P O	13人	13%
その他	12人	12%



	人数	割合
設置者	1人	1%
管理者	8人	8%
サービス管理責任者	2人	2%
主任	2人	2%
一般従事者	84人	87%



	人数	割合
児童発達支援	8人	8%
共同生活援助	9人	9%
就労継続支援	18人	19%
施設入所支援	10人	10%
生活介護	14人	14%
放課後等デイサービス	19人	20%
その他	19人	20%



2. 研修の内容等について

・今後の業務等に参考になりましたか。

	人数	割合
大変参考になった	31人	42%
参考になった	41人	55%
一部参考になった	2人	3%
あまり参考にならなかった	0人	0%
参考にならなかった	0人	0%
計	74人	100%

・「障害者虐待」の認識について

	人数	割合
認識が変わった	36人	49%
特に変わらない（元々、認識あり）	37人	50%
特に変わらない（理解不十分）	1人	1%
その他	0人	0%
計	74人	100%

・参加者の声（意識の変化、今後はどう生かしていくか等）

- ・虐待については、福祉施設で働く上で切っては切れない事柄だと思う。このような研修を通して、改めて考え直さなければならないことや話し合いを行わなければならないことを再認識することができた。
- ・虐待は日々の小さなことからエスカレートして発生することが実感と共に理解できたので、気になることがあれば自分から積極的に発信し、風通しをよくしていきたい。
- ・非意図的虐待の所では業務内で交換条件をしていたのでそれも虐待かなと自分を振り返ることが出来た
- ・一人で抱え込まず、職員間で話し合い、解決していくという考え方を学ぶことができた。
- ・虐待を自分としては行っていない、という意識でいましたが、心理的虐待の中には、知らず知らずのうちに虐待につながる声かけや行動をしていた事に気付かされました。（交換条件の提示）
- ・自分自身が支援者として話し方や言葉の選択、行動面など気をつけなければならない事がわかった。
- ・無意識の内に虐待とまではいかないが、相手の尊厳を傷付けるような言動をしていたかもしれないのでこれからは注意していこうという意識が変わったので意識改革という面で大変参考になりました。
- ・今回の講義で虐待防止に務めるだけでなく、障害のある方の人権の尊重について考える機会を改めて貰えた気がしました。障害のある方を個人として尊重する、この当たり前の意識を忘れずにいたいと思いました。